

ホームページ用情報公開文書

研究課題：画像で骨膜反応を認めた場合の基礎疾患についての後ろ向き研究

1. 研究の目的

画像で骨膜反応を認めた場合の基礎疾患についての後ろ向き研究

2. 研究の方法

骨膜反応は様々な病態で起こりうるため、小児にとってまれではない画像所見である。この所見は、成長の過程で生じるもの、悪性疾患の転移によるもの、骨折や感染、薬剤が原因で生じる可能性がある。そのため画像検査を行う放射線科にとって、この所見の原因について知識を持っていることは重要と考え、その所見と原因について検討する。

3. 研究期間

研究期間は2016年1月から2019年1月までの骨膜反応を認めた患者を対象とする。その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、既往歴、基礎疾患、薬歴や病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめる。2019年6月から2019年9月までの4ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

骨膜反応の有無と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究分担医師：細川 崇洋

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年9月30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）